北海道地方

名前

問1　日本の各地域の農業を比較した統計において、北海道は農業従事者一人あたりの農業産出額が約1570万円となっており、他地域の平均である約310万円と比べて極めて高い数値を示しています。このような北海道の農業を支える背景として最も適切なものはどれですか。（2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 傾斜地の多い地形を活かして段々畑を作り、果樹などの高付加価値な作物を少人数で栽培している。
2. 気候が温暖であることを利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて他の地域より出荷時期を早める促成栽培が主流である。
3. 都心に近い立地を活かし、限られた土地に多くの労働力を投入して単位面積あたりの収益を上げる集約的な農業を行っている。
4. 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。

問2　北海道の農業経営が、他の都府県と比較して「大規模農業」と呼ばれている理由として、その特徴を適切に説明しているものはどれですか。（2016年 愛媛県公立入試 類似）

1. 都市近郊の立地を活かして、狭い土地で付加価値の高い野菜を生産する園芸農業が中心である
2. 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている
3. 温暖な気候を利用して、同じ土地で年に2回作物を栽培する二毛作を徹底している
4. 山がちな地形を活かし、小規模な土地に多くの労働力を投入する集約的な農業を行っている

問3　北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域
2. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域
3. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域
4. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域

問4　北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）

1. 日高山脈
2. 奥羽山脈
3. 飛騨山脈
4. 赤石山脈

問5　水産資源を安定的に確保することを目的として、卵から人工的にふ化させた稚魚を、外敵から守れる環境である程度まで育ててから自然の海や川へ放流し、成長した後に再び漁獲する漁業の形態を何といいますか。（2019年 岡山県公立入試 類似）

1. 養殖業
2. 遠洋漁業
3. 沖合漁業
4. 栽培漁業

問6　北海道の北部に位置しながら、上川盆地で稲作が盛んに行われている理由について、この地域の気候の特性から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 季節風の影響で一年中雨が多く、灌漑施設に頼らずに水田に水を引くことができるため
2. 一年を通じて暖流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候が続くため
3. 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため
4. 標高が高いため、夏でも涼しく害虫の被害を受けにくいという気候特性を持っているため

問7　北海道東部に位置する根釧台地では、広大な土地を利用した大規模な酪農が盛んに行われています。この地域で畑作よりも酪農が適している理由として、気候や土地の条件を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 一年を通じて降水量が非常に少なく乾燥した気候であり、水不足に強い牛の飼育が適しているから。
2. 冬の積雪量が非常に多く、春になっても雪が解けないため、耕作期間が極端に短いから。
3. 土地が火山灰で覆われており非常に肥沃であるため、肥料を使わずに効率よく飼料を生産できるから。
4. 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。

問8　日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
2. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
3. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。

問9　北海道の太平洋沿岸部において、夏に発生する濃い霧（海霧）の発生メカニズムについて説明した記述として、最も適切なものを選択してください。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. 北西から吹く冷たい季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められるため。
2. 南東から吹く乾いた季節風が、寒流であるリマン海流によって冷やされるため。
3. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。
4. 北西から吹く湿った季節風が、暖流である対馬海流によって温められるため。

問10　北海道の北東側に面し、千島列島へと連なる海域において、冬季にシベリア沿岸から流氷が押し寄せることが大きな特徴となっている海域の名前を選びなさい。（2024年 石川県公立入試 類似）

1. オホーツク海
2. 東シナ海
3. 日本海
4. 太平洋

問11　北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。（2018年 長野県公立入試 類似）

1. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。
2. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。
3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。
4. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。

問12　北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため
2. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため
3. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため
4. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広く、大型の機械を導入することで生産性を高めている。	北海道の農業は、明治時代以降の開拓の歴史を背景に、他都府県と比較して一戸あたりの経営規模が非常に大きいのが特徴です。広大な耕地を効率よく管理するため、大型のトラクターやコンバインなどの機械化が進んでおり、その結果として、農業従事者一人あたりの生産額が他地域を大きく上回る大規模経営が実現しています。
問2	答え 2 大型の農業機械を導入することで、農業就業者一人あたりの耕地面積を広げている	平坦で広大な土地を活かし、トラクターなどの大型機械を効果的に導入することで、少人数で広大な面積を管理する仕組みが整っています。これにより、一人あたりの生産性が高まり、米の生産量においても国内有数の割合を占めるに至っています。他の選択肢にある二毛作は主に温暖な地域、集約的農業や園芸農業は都市近郊や限られた土地を活用する地域で見られる特徴です。
問3	答え 3 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域	北海道の日本海側に位置する都市（札幌など）は、対馬海流（暖流）の影響を受けるため、冬に北西の季節風によってもたらされる雪の影響で、12月や1月の降水量が多くなります。年平均気温が9度前後、降水量が1100mm程度という数値は、北海道の中でも比較的温暖で、冬の降雪が顕著な西岸地域の典型的な特徴を示しています。
問4	答え 1 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その険しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問5	答え 4 栽培漁業	稚魚の時期は自然界において外敵に襲われやすく、生存率が非常に低いという課題があります。この期間を人間が管理する施設で保護してから放流することで、資源の回復を図ります。最後まで人間が管理して育てる養殖業とともに「育てる漁業」と呼ばれますが、最終的に自然の海へ戻す点が最大の特徴です。
問6	答え 3 内陸のため夏は比較的気温が上がり、稲の成長に必要な熱が得られる内陸性気候であるため	上川盆地は海から離れた内陸に位置しているため、夏は海沿いの地域に比べて気温が上昇しやすい「内陸性気候」の性質を持っています。稲の結実には夏の一定以上の高温が必要であるため、この気候特性が北海道での稲作を可能にしています。一方で、冬は非常に寒さが厳しく、積雪量が多いことも特徴の一つです。
問7	答え 4 夏は湿った風の影響で濃霧が発生しやすく、低温であるため、作物の栽培よりも牧草の生育に適しているから。	根釧台地は千島海流（親潮）の影響を受けた湿った空気が流れ込み、夏に濃霧が発生しやすく、気温が上がらない「冷涼」な気候が特徴です。このような気候条件や火山灰地という性質は、一般的な畑作には不向きですが、牛の餌となる牧草の栽培には適しているため、大規模な酪農が発展しました。
問8	答え 1 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。	北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。
問9	答え 3 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされるため。	日本の夏は、太平洋側の小笠原気団から南東の季節風が吹き込みます。この湿った空気が、北海道の東側の太平洋沿岸を流れる冷たい寒流「親潮（千島海流）」の上を通る際、急激に冷やされることで空気中の水蒸気が水滴に変わり、濃い霧が発生します。冬の北西季節風や、暖流である黒潮・対馬海流とは発生条件が異なります。
問10	答え 1 オホーツク海	北海道の北側に位置するこの海域は、冬になるとアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなった海水が凍り、それが季節風に乗って南下してくる「流氷」が見られることで有名です。日本の周辺海域でこのような大規模な流氷が観測されるのは、この海域特有の現象です。
問11	答え 2 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。	かつて本州と北海道の輸送は青函連絡船が主流でしたが、海上の悪天候による欠航が課題でした。これを解決するために、青森県と北海道の間の津軽海峡に青函トンネルが建設されました。これにより、本州からの玄関口である青森県を経由して、新幹線や貨物列車が年間を通じて安定して往来できるようになりました。
問12	答え 2 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。